

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月28日

計画の名称	災害に強い県土づくり～海岸における安全・安心の確保～ (防災・安全) (通常)												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度 (2年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沖縄県												
計画の目標	<p>沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、老朽化が著しく防護機能が確保されていない箇所については、整備を促進する必要がある。</p> <p>一方、優れた自然環境を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の重要な観光資源となっている。</p> <p>このため、防護が必要な海岸において所要の安全を確保するとともに、環境や利用にも配慮し、防護・環境・利用が調和した総合的な海岸整備を推進する。</p>												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	75	A	75	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を0.7ha(H30)から0.5ha(H31)に減少させる。			
	想定浸水面積・・・高潮・波浪、老朽化、侵食等に対する防護機能が確保されていない海岸において、計画外力により浸水が想定される区域の面積	1ha	ha	1ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	沖縄	沖縄県	直接	沖縄県	老朽化	水国	兼久海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	堤防L=33m	嘉手納町	■	■				75		策定済
											小計						75		
											合計						75		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>沖縄県で海岸保全施設の整備状況を整理し事後評価を実施。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年度</p> <p>公表の方法</p> <p>県のホームページで公表</p>
---	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>高潮・波浪時の越波等による防護が必要な兼久海岸において、海岸保全施設の整備を実施し、防護が必要な海岸において所要の安全が確保された。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

老朽化対策緊急事業については、長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、優先度の高い箇所から計画的に対策を実施していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水想定面積	
	最終目標値	1ha
	最終実績値	1ha
	老朽化対策事業による海岸保全施設の整備により、防護が必要な海岸において最終目標値を達成している。（目標：0.7ha→0.5、実績：0.7ha→0.5ha）	

(参考図面)

